

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年12月3日（火）

2 確認箇所

5、6号敷地護岸ヤード（ALPS処理水希釈放出設備・放水立坑）（図1）

3 確認項目

放水立坑（上流水槽）点検作業の状況

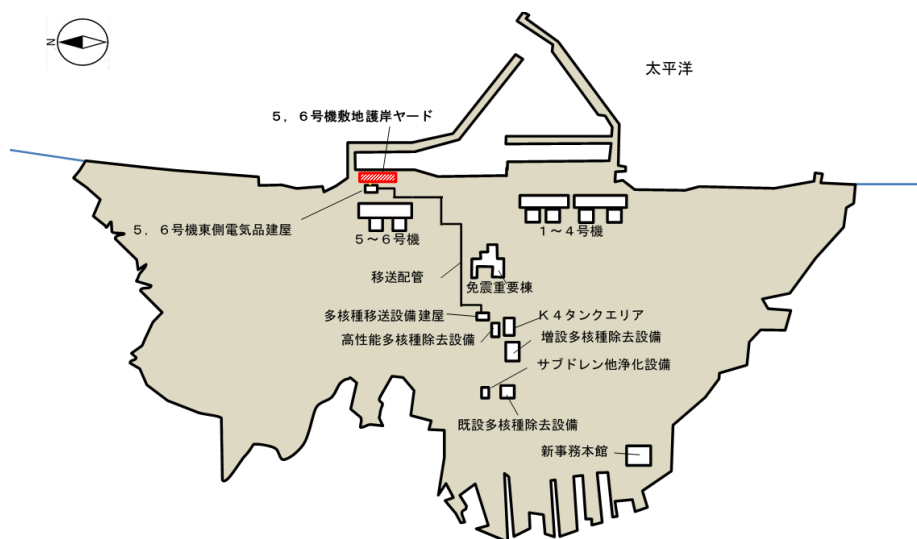
4 確認結果の概要

多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）は、海水でトリチウム濃度を1,500 Bq/L未満まで希釈し、海洋に放出している。希釈に用いる海水には貝類などの海生生物や土砂が含まれており、ポンプや配管等の設備のトラブル要因となるため、定期メンテナンスが必要となる。

このため東京電力では、第10回目（10月17日）のALPS処理水放出後に設備のメンテナンスを実施している。（前回確認：[令和5年12月13日](#)）

本日は、ALPS処理水希釈放出設備のうち放水立坑（上流水槽）の点検作業の状況について確認した。

- ・当日は、上流水槽内部に溜まった土砂等を除去する清掃作業が行われていた。（写真1）。
- ・回収された土砂は土嚢袋に入れられていた。（写真2）
- ・確認した範囲において、除去物の飛散及び流出並びに上流水槽の健全性に影響を与える損傷はなかった。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1①) 上流水槽外観



(写真1②) 上流水槽内部



(写真2①) 内部に溜まった土砂等



(写真2②) 回収された土砂等

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常値は確認されなかった。